

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

小学校第6学年  
算数A 解答用紙

7012

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

1	(1) 103	(2) 5418	(3) 8.2
	(4) 0.4	(5) 20	(6) $\frac{11}{15}$

2	(1) 3	(2) 3
---	-------	-------

3	1
---	---

4	(1) 4	(2) 式 (例) $16 \div 8$
---	-------	--------------------------

5	(1) 式 (例) $6 \times 3.14$	答え $18.84$ cm	(2) $40$ cm <sup>3</sup>
---	------------------------------	------------------	--------------------------

6	2
---	---

7	1
---	---

8	2
---	---

9	4
---	---

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

2061  
小学校第6学年  
**算数B 解答用紙**

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

1 (1) **3**

(2) (例)  
 $37 \times 24$ の24は $3 \times 8$ と考えることができます。  
 すると、 $37 \times 24$ の積は $37 \times 3$ の8倍の大きさになります。  
 だから、積は111の8倍の888になります。

2 (1) 式 (例)  $1500 \div 250$  答え **6** 倍

番号 **1** わけ (例)  
 棒グラフで表すことができる水の量は、1目もりが $50\text{m}^3$ で20マスだから、 $50 \times 20 = 1000$ で、 $1000\text{m}^3$ までです。  
 6・7月の水の使用量は $1500\text{m}^3$ で、 $1000\text{m}^3$ よりも多いので、棒がわくの中に入りません。

(3) **4**

3 (1) **27** 分間 (2) 番号 **1, 3**

番号 **3** わけ (例)  
 10人分のスープの量は、 $9 - 7 = 2$ で、2 Lです。  
 残りの30人に必要なスープの量は、 $2 \times 3 = 6$ で、6 Lです。  
 10人に分けた後では7 L残っているので、30人に分けると、 $7 - 6 = 1$ で、1 L残ります。  
 だから、分けることはできますが、残ります。

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名	組	出席番号	男女	個人番号

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

2062

算数B

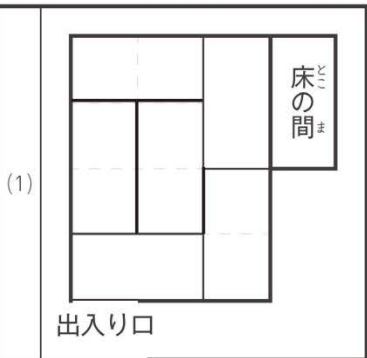
《ここから上には解答を書いてはいけません。》

4

(1) 9 小節目

(2) (例) 12は、4と6の最小公倍数です。

5



(2) 4

求め方 (例)

まず、妹の一あたの長さを求めるために、妹の身長10%の長さを計算します。 $140 \times 0.1 = 14$ で、約14cmになります。

(3) 次に、妹のはしの長さを求めるために、妹の一あたの長さを1.5倍します。 $14 \times 1.5 = 21$ で、約21cmになります。

答え  
約 21 cm

《ここから下には解答を書いてはいけません。》